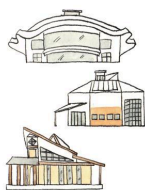


Izunuma & Uchinuma Bird Experience

秋冬

伊豆沼・内沼
とり



- 1** 宮城県 伊豆沼・内沼
サンクチュアリセンター ● 鳥館
- 2** 登米市 伊豆沼・内沼
サンクチュアリセンター ● 淡水魚館
- 3** 栗原市 サンクチュアリセンター
つぎだて館 ● 昆虫館



- A** 獅子ヶ鼻堤防
朝日と鳥の飛び立ち観察がおすすめ
- B** 水生植物園
園内散策や環境保全の取り組みを学ぶことができます。
- C** 三角地
鳥のねぐら入り観察がおすすめ
- D** 東岸堤
鳥のねぐら入り観察がおすすめ
- E** 野鳥観察館
屋上や室内から鳥の観察ができます
- F** 彦道船着場
田んぼにいる鳥が観察できます
- G** 内沼の砂浜
夕日と鳥のねぐら入り観察がおすすめ
- H** 砂子崎
朝日と鳥の飛び立ち観察がおすすめ

- 伊豆沼農産**
自家製のハム、ソーセージ、ジェラートや、地域の農産物、食品、手作りグッズなど
- くんべる**
伊豆沼農産の赤豚を使ったレストラン
- コロポックル**
素晴らしい展望、ジャズ喫茶
- シルクロ**
三塚牧場の和牛を使ったハンバーガーなど
- ひしの実**
地域食材などを使ったホットサンドなど



ハクチョウや オナガガモとふれあうことができます



[開館時間] 9:00~16:30 [休館日] 月曜日、祝日の翌日、年末

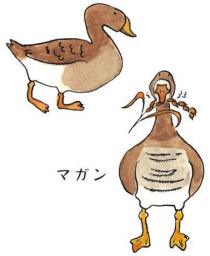
とり MAP スポット詳細



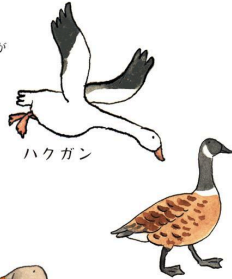
宮城県北部 登米市・栗原市にまたがる伊豆沼・内沼は ラムサール条約登録湿地、国設鳥獣保護区です

伊豆沼・内沼にやってくる冬の使者たち ここに掲載した以外にも沢山の鳥たちがやってきます！ よ〜く見て、耳をすまして、みつけてくださいね〜！

マガン幼鳥
胸の縞、くちばし根元の白い部分が
まだありません



マガン



ハクガン



シジュウカラガン
千鳥列島周辺の島々から



オオヒシクイ
カムチャッカ半島から

ガン類

9月下旬、極東ロシアからやってきます。
夜は沼をねぐらに、昼間は田畑で落ち穂や草、
大豆などを食べています。
夜明けの「飛び立ち」、夕暮れの「ねぐら入り」
はみごとで、迫力に圧倒されます！
(2月上旬くらいまで)

小鳥たち



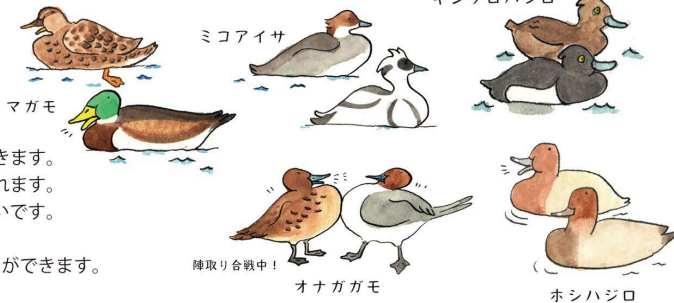
ジョウビタキ

ヘニマシコ

シベリアからやってきます。
沼周辺では多くの小鳥が冬を過ごしています
耳をすますと、かわいらしい声が聞こえるかも！

カモ類

9月、極東ロシアなどからやってきます。
種類が多く、昼間の伊豆沼でみられます。
見分けられるようになると 楽しいです。
双眼鏡があるといいですね！
オナガガモは内沼で観察や餌やりができます。
(3月上旬くらいまで)



マガモ

ミコアイヤ

キンクロハジロ

陣取り合戦中！

オナガガモ

ホシハジロ

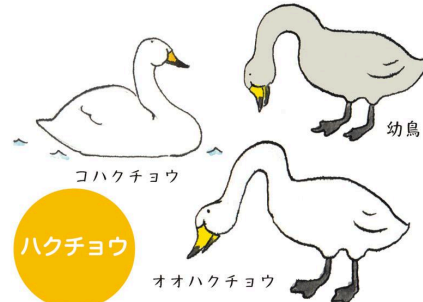
オジロワシ



オジロワシ

11月、ロシアから2〜3羽やってきます。
凍結した沼でカモ類を捕獲する姿が見られるかも！
バードウォッチャーのあこがれ。

ハクチョウ



コハクチョウ

幼鳥

オオハクチョウ

コハクチョウは9月、ツンドラ地帯からやってきます。
オオハクチョウは10月、タイガ地帯からやってきます。
田畑では落ち穂などを、沼では蓮の地下茎(れんこん)
などを食べています。
幼鳥を引き連れた家族を見かけます。
大きく真っ白な身体で列をなして飛ぶ姿はみごとです。
コハクチョウはオオハクチョウより少し小さくくちば
しの黄色部分が少ないです。
(3月上旬くらいまで)

野生の動物たちや、 沼の環境を守るために、 約束があります！



夜間、沼の周りでの
ハイビームはだめ!!
鳥たちが驚いて大騒ぎに。
鳥の親子が離ればなれになるかも。



ブラックバスの放流も
リリースもだめ!!

釣りも、遊びも
沼に立ち入ることはだめ!!
沼には貴重な在来魚などが
戻ってきているんですよ。

みつけたら!?

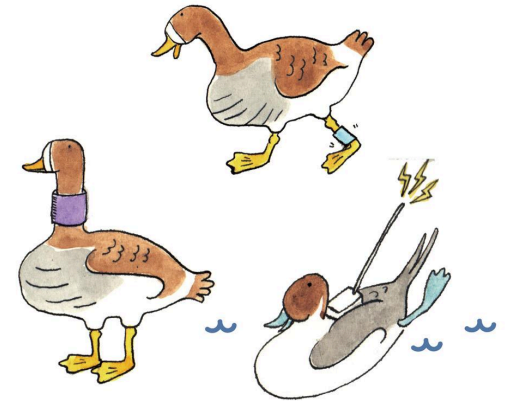
田畑や、沼で、沢山の渡り鳥をみかけます。
中には首や脚に輪っかを付けた鳥や、背中に
発信器を付けた鳥をみつけるかもしれません。
「鳥の渡り」の研究をしているんですよ！
みつけた時は下記機関に連絡してくださいね！

(公財) 山階鳥類研究所
千葉県我孫子市高野山 115
tel: 04-7182-1101
E-mail: bird@yamashina.or.jp

(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味 17-2
tel: 0228-33-2216
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp



スナック菓子やパンなど、
油や添加物、塩分の強いモノ
をあげてはだめ!!
サンクチュアリセンター、
伊豆沼農産で「鳥のえさ」が
売っています。



伊豆沼・内沼 イラストマップ 秋冬版
2024年1月制作
発行元: 伊豆沼農産 農村産業研究所
連絡先: 0220-28-2986
協 力: 伊豆沼・内沼クラブのみなさん
イラスト・デザイン: アトリエ「み」